

令和5年度

さいたま市立宮原中学校



特別支援学級紹介

【知的障害(11組)・自閉症・情緒障害(12組) 特別支援学級】

校 訓 夢ひとすじに

学校教育目標 学び 磨き 鍛え 羽ばたけ



さいたま市立宮原中学校

331-0812 さいたま市北区宮原町4丁目129番地
TEL 048-663-0961 FAX 048-663-9881
URL <http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp/>
Email miyahara-j@saitama-city.ed.jp



特別支援学級は、障害のある児童・生徒のために小中学校に障害の種別ごとに置く少人数学級です。

本校には、平成29年度「自閉症・情緒障害特別支援学級」が初めて設置され、翌年度に「知的障害特別支援学級」が設置されました。本年度は「知的障害特別支援学級」1学級(11組)、「自閉症・情緒障害特別支援学級」1学級(12組)の2学級編成です。現在の生徒数は、12名の在籍となります。内訳は以下のとおりです。

	1年男子	1年女子	2年男子	2年女子	3年男子	3年女子	合計
11組	1	4	1		1		7
12組	1		2	1	1		5

【特別支援学級の特長】

- ①特別支援学級は、1学級を8名以内で編成し、障害種別少人数、異学年の集団で、生徒一人ひとりの実態に応じた指導を行っています。
- ②特別支援学級では、個に応じて指導の目標や内容、方法を工夫し、一人ひとりの障害の種類や状態、特性、発達段階に応じた指導を行い、社会参加や自立を目指すための学習を行っています。
- ③特別支援学級では、生徒の経験を広めて積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性を育むために、学校の教育活動全体を通じて、交流(教科、行事、部活動など)及び共同学習を進めています。

【教育課程】

特別な教育課程を編成しています。

【教科別の指導】

国語(3時間)・数学(3時間)・G・S(1時間)
 社会(1時間)・体育(3時間)
 ※音楽(2時間) ※美術(2時間)
 ※職業(2時間) ※家庭(2時間)

※通常学級より専科の教員による指導

【その他の指導】

総合的な学習の時間(1時間) 生活単元学習(1時間)
 作業学習(3時間) 自立活動(1時間)

日常生活の指導(4時間)

※「自立活動」とは、幼児児童生徒の障害に由来する種々の困難を改善・克服すること、すなわち社会によりよく適応していくための資質を伸ばす指導です。

※「日常生活の指導」とは、日常生活のなかで児童が生活していく力を高め、様々な機会を作って一人一人の自立への力を伸ばしていくものです。

※「生活単元学習」は、児童生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を実際の・総合的に学習するものです。

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導	日常生活の指導	音楽	日常生活の指導	美術
2	G・S	国語	日常生活の指導	国語	美術
3	職業	社会	数学	数学	作業学習
4	職業	保健体育	書写	生活単元学習	音楽
給 食					
5	保健体育	総合的な学習の時間	作業学習	自立活動	家庭
6		数学	作業学習	保健体育	家庭

合計 29時間

【本校の特長的な取り組み】

① 交流学級との授業交流

交流学級での朝の会、給食や授業交流を積極的に進めています。

数学、理科など生徒の実態に応じた授業交流も可能です。

② 交流学級との行事交流

3年・プラネタリウム学習(宇宙劇場)

・修学旅行(京都・奈良方面)

2年・館岩自然教室(スキー体験)

・未来くるワーク(職業体験学習)

・管弦楽教室

1年・校外学習(上野・浅草)

全学年

・体育祭や合唱コンクール(RaiBoc Hallレイボックホール)では、交流学級に入って参加します。

③ 部活動への参加

・部活動に参加、活動することも可能です。

④ 特別支援学級独自の行事

・校外学習(新江ノ島水族館)

・学習体験型活動(日本科学未来館)

・北区特別支援学級作品展に出展及び頒布活動(3日間)



可動式カーテンで教室を仕切って使うことができます。



カーテンで仕切ることができ、着替えや落ち着けるスペースとして利用します。

【卒業後の進路】

県立高校、私立高校、サポート校、特別支援学校、特別支援学校高等部職業学科・高等部分校など多様な進路について、生徒や保護者の皆様に情報提供し、生徒の特性に応じた進路指導を進めます。